

熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】

[戦略の期間:平成27~31年度]

基本目標

1. 熊本の発展を支える産業と、魅力ある雇用を創出する

2. 熊本への人の流れを創るとともに、人材の流出を抑制する

3. 県民の結婚・出産・子育ての希望を実現する

4. 県民が誇りを持ち安心して暮らし続ける地域を創る

○社会減を1,430人に半減

○5年間の出生数を77,350人

○県民総幸福量を70ポイント

取組みの方向性と実現に向けた施策

活力と雇用を創る

- (ア) 地域の活力をけん引する農林水産業の展開
 - ◆熊本型農業者育成の仕組みの構築(相談から就農、定着までの支援)
 - ◆企業の農業参入、農地集積、6次産業化の推進
 - ◆森林経営集約化、新たな木材流通体制整備など「山のしごとシステムづくり」
 - ◆水産資源の回復や養殖環境の保全・改善の取組支援
- (イ) 新たなビジネスの創出
 - ◆「自然共生型産業(アグリ、バイオ、ヘルスケア等)」などの飛躍
 - ◆大学との連携による新産業創出に向けた人材育成や地域課題の解決
- (ウ) 地域に根ざす企業の振興
 - ◆ものづくり産業やサービス産業等の生産性向上の取組支援
 - ◆地場企業の「成長発展」と「持続的発展」の支援
 - ◆リーディング企業創出やプロフェッショナル人材戦略拠点の活用
- (エ) 戦略的企業誘致の推進
 - ◆研究開発部門誘致及び企業の本社機能の移転促進
 - ◆半導体・自動車関連産業の更なる集積
- (オ) 地域資源を活用した交流拡大
 - ◆豊かな自然や食などの地域の環境・資源を活かした交流人口の拡大
 - ◆新たなアイデアを生む外部人材の活用やICTを活用した情報発信
- (カ) 産業ニーズに応じた人材の育成・確保
 - ◆若手経営者などを対象とした新たな人材育成や職業訓練の充実
 - ◆熊本ゆかりの人材のネットワーク化の取組みやUJターンの促進
 - ◆学校における職業講話やインターンシップの実施による職業教育の充実
 - ◆生徒や保護者、教職員の地元企業の認知度向上による県内就職促進
 - ◆医師・看護師・福祉職員・建設技術者等の人材育成・確保

世界の中で輝く

- (ア) 世界で躍動する海外戦略の展開
 - ◆空港及び空港アクセスの更なる機能向上など「大空港構想」の推進
 - ◆八代港等の利便性向上及びクルーズ船受入れ推進
 - ◆農林水産物・加工品などの海外への販路拡大
 - ◆留学生の相談・就職支援
- (イ) 観光を基軸にした仕事づくり
 - ◆ウェルカムマインド・語学力など「おもてなし力」の向上
 - ◆九州を周遊する広域観光ルートの構築
 - ◆ICTを活用した戦略的マーケティングなど客単価向上等の取組の推進

※ 「基本目標」の実現に向けて、取組みの方向性に沿って施策を展開します。
※ 具体的な施策のまとめりに「重要業績評価指標(KPI)」を設定(80項目)し、進行管理を行います。

安心・希望を実現する

- (ア) 子供を安心して産み育てられる社会づくり
 - ◆結婚活動・出産・子育てのステージに応じた支援
 - ◆妊娠・出産に関する知識の普及啓発によるライフデザイン化
 - ◆多子世帯保育料軽減、保育所等利用待機児童ゼロに向けた取組促進
- (イ) 安心して暮らせる社会づくり
 - ◆「くまもと地域くらし安心システム(仮称)」の構築(医療・介護・予防・住まい・生活支援の一体的な提供)
 - ◆生涯現役で活躍する健康長寿の取組支援
- (ウ) 女性の社会参画の加速化、若者・高齢者・障がい者の活躍促進
 - ◆ワークライフバランスの実現など女性が輝き活躍できる環境の整備
 - ◆若者・高齢者・障がい者の個性に応じた就労の支援
- (エ) 誰もが働きやすい労働環境の整備
 - ◆ブライ企業認定・表彰
 - ◆企業の健康経営の推進
 - ◆企業と従業員の相互理解による働き方改革の推進
- (オ) 次代を担う人材・グローバルな人材の育成
 - ◆児童生徒の学力向上や学生等の海外留学・進学支援、SGHの推進
 - ◆ICT活用による教育の推進
 - ◆東京オリンピック・パラリンピックに向けた競技者の育成

未来の礎を築く

- (ア) 次代につなぐ地域づくり
 - ◆親元就農等による三世同居・近居の推進など家族や地域の絆の再生
 - ◆拠点集落への機能集約など小さな拠点づくりの推進
 - ◆阿蘇の草原再生や地下水と土を育む取組みの推進
 - ◆市町村や関係団体と連携した「くまもと移住定住促進戦略」の推進
- (イ) 歴史・文化・芸術・スポーツ等による地域づくり
 - ◆世界遺産・日本遺産の登録・認定の推進
 - ◆歴史・文化資源を活用した地域活性化支援
 - ◆「総合型地域スポーツクラブ」の育成など生涯スポーツの振興
- (ウ) 人口のダム効果を活かした広域連携の推進
 - ◆複数市町村等が連携・協働する広域的な取組みの支援
 - ◆連携中枢都市圏等の広域連携の支援
- (エ) 拠点性を高める基盤づくり
 - ◆幹線道路ネットワークや地域の実情に応じた公共交通網の整備
 - ◆コンパクト・プラス・ネットワーク形成に資する道路網の整備
 - ◆熊本駅周辺地域の在来線高架化の推進
- (オ) 災害に負けないまちづくり
 - ◆「九州を支える広域防災拠点構想」に基づく拠点施設機能の強化
 - ◆消防団・自主防災組織等の充実強化
 - ◆道路・河川等の整備や戦略的維持管理
 - ◆土砂災害警戒区域外への移転支援

・ 「幸せ実感くまもと「まち・ひと・しごと」づくり推進会議」において、課題等の認識共有を図り、将来への取組みを協働して推進する。PDCAマネジメントサイクルによる成果重視の運営や、外部有識者等の参画による効果検証を行う。また、分かりやすい指標(KPI)により進捗状況を公表する。
・ 総合戦略に掲げた施策と各市町村の個性を生かした取組みが相乗効果を生み出せるよう、県と市町村が方向性を共有し、より一層連携しながら、地方創生の実現に取り組む。